

五太郎山(380m)から角山(526m)へ



角山(かどやま中央右) 五太郎山(右)



チャンチンモドキ幹回り 270cm



チャンチンモドキの実



H17.10.10(日) 晴 3名参加 (天草山岳会)

1号車-N、Y、A

□タイム 9:40 出発,10:11 福連木官山の名水,10:17 遊歩道登山口出,10:32 あずま屋,11:05 五太郎山,11:15 分岐左へ,11:59 角山(かどやま),12:25 下山開始,12:51 チャンチンモドキの実,14:00 あずま屋,14:10 登山口,15:00 帰宅

□本渡から国道 266 号を牛深方面へ走る。途中から右折し下島横断道路を下田方面へ入る。福連木トンネルを通り福連木で左折、しばらく進むと福連木子守唄公園オートキャンプ場がある。

キャンプ場を通り過ぎ左折して橋を渡ると付近に黄色い銀杏や梅に似た実が落ちている。これはチャンチンモドキの実である(写真左下)。道の左側に山の神を祀る祠があり少し登ると幹回り 270cm のチャンチンモドキの大木がある。おそらく天草では最大の木と思われる。チャンチンモドキは漢字で「香椿疑」と書きウルシ科の植物で国内では熊本県、鹿児島県、福岡県などに少数自生し、東南アジア北部、ヒマラヤに分布する落葉高木。雌雄異株で5月頃に赤褐色の花を咲く。センダン科のチャンチンに似ていることからこの名があるがチャンチンの花は白色。環境省レッドデータブックの絶滅危惧 1B 類(EN)に指定される希少植物だ。

溪流に沿って奥へ進むと昭和 60 年くまもと名水百選に選定された福連木官山(ふくれぎかんざん)の名水がある。川を渡り遊歩道を登ったところで車道の終点へ出て東屋がある。

広葉樹林に囲まれた快適な尾根道を登りつめたところが五太郎山の山頂だが眺望はない。五太郎山から角山の山腹にはかつての富岡往還と呼ばれる古道が残されている。富岡往還は牛深、河浦、高浜から代官所が置かれていた富岡へつながる山越えの古道である。標高約 450m 付近から富岡往還と別れて右へ登る。樹林を抜けると急に視界が開けて角山山頂台地に到着した。

